

<p>環境構成全般</p>				
	<p>環境構成の理論と実践 高山静子 エイデル研究所 2014（発達のステージに合う環境を熟読でレベルアップ）</p>	<p>「保育プロセスの質」評価スケール、イラム・シラージ他、明石書店、2016（2歳からの物的環境と関わりの質を高める）</p>	<p>保育環境スケール乳児版 埋橋玲子 法律文化社 2008（物的環境を自己チェックできる）</p>	<p>学びを支える保育環境づくり 高山静子小学館 2017（乳児は後半、学びの観点から写真を紹介）</p>
<p>子どもが遊ぶ素材選び</p>				
	<p>乳児保育吉本和子、エイデル研究所、2002（部屋の空間の作り方と、時間の環境、玩具選びを知りたい方へ）</p>	<p>保育とおもちゃ 瀧 薫 エイデル研究所、2011（発達に合った市販・手作りの玩具を指針に合わせて解説、新指針も大丈夫）</p>	<p>積木と保育 吉本和子・脇淵爾良 エイデル研究所 2014（012歳の積木と遊びも詳細に紹介）</p>	<p>子どもが生み出す絵と造形 子ども美術文化研究会 2012（012歳の自然素材の遊びを紹介）</p>
<p>発達の理解</p>				
	<p>続発達がわかれば子どもが見える 乳幼児保育研究会 ぎょうせい、2013</p>	<p>子育て支援ひだまり通信 高山静子 チャイルド本社 2010（大人がダメダメ言ってます 012歳の行動をわかりやすく解説）</p>	<p>40のサインでわかる乳幼児の発達、鈴木八郎、黎明書房 2016</p>	<p>乳児の発達と保育 エイデル研究所、2011（初めて012歳を担当する人に。生活と遊びを写真で紹介）</p>
<p>保育を変えた体験談・実践</p>				
	<p>「育ちあいの場づくり論—子どもに学んだ和光の保育・希望編」鈴木まひろ・久保健太ひとなる書房 2015（保育者主導から子ども主体の保育へと変えた33年の軌跡）</p>	<p>ハンガリー たっぷりあそび就学を見通す保育、私保連、サライ美奈、かもがわ出版 2014（後半に一斉保育から担当制へ変えた体験談有）</p>	<p>「対話」から生まれる乳幼児の学びの物語：子ども主体の保育の実践と環境 大豆生田啓友 学研 2016（0～年長まで子どもの声を聴き広げる実践例が豊富に）</p>	<p>お母さんの「敏感期」—モンテッソーリ教育は子を育てる、親を育てる 相良 敦子文芸春秋 2007（家庭向けだが手作り玩具等、参考にできる）</p>
<p>その他、とくにお薦め本</p>				
	<p>はう運動あそびで育つ子どもたち 今井寿美枝 大月書店 2014（3冊シリーズで012歳の保育の重要性がわかる。本を読むことが好きな人に）</p>	<p>乳幼児がぐんぐん伸びる幼稚園・保育園の遊び環境 25の原則 東間掬子 黎明書房 2017（012歳の保育室内の運動確保のノウハウがたくさん紹介されている）</p>	<p>読みあう活動研究会、樋口正春、仲本美央、絵本から広がる遊びの世界、風鳴舎、 2017</p>	<p>脳をきたえるじゃれつき遊び 正木武雄他 小学館 2004（体遊びや、親子遊びの参考に）</p>